

東京社保協ニュース

東京社会保険推進協議会

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-33-10
東京労働会館6F

tel03-5395-3165 fax03-3946-6823

東京社保協



4.14 巣鴨
宣伝行動

必要な医療と介護は国の責任で



4月14日、巣鴨駅前で中央
社保協・東京社保協共催の署
名宣伝行動を行い、11人が参
加しました。
小雨模様にもかかわらず、
とげぬき地蔵「4の日」の縁
日に向かう人混みは引きも切
らず、宣伝カーからの訴えに
立ち止り、多くの方が署名に
応じてくれました。
「今病気になるったり、介護
が必要になつたら生きていけ
ない」「これ以上、医療や介
護が改悪されたら大変だ」な
ど、署名に応じながら切実な
声が寄せられます。また、各
弁士の訴えに立ち止まり、う
なずきながら真剣に聞き入っ
ている方もいました。
昼の1時間という短時間の
宣伝行動でしたが、署名入り
ティッシュ700個を配布し、
署名が33筆寄せられました。
次回の宣伝行動は、5月1
日(日)10時から原宿駅前、
5月14日(土)の11時から12
時半の予定で巣鴨地蔵通り入



この総がかり行動実行委員
会の呼びかけに応えた署名宣
伝行動には、11団体28人が参
加し、署名が60筆集まりまし
た。

4月19日、戦争法の廃止を
求める「2000万署名」へ
の協力を求める、第3火曜日
のいっせい宣伝行動を池袋東
口で行いました。
署名の訴えに対して、「安
倍さんは国民のことは考えて
いない。戦争法は絶対ダメ」
「安倍政権は早くやめさせる
べき」「私も地域で集めてい
ます」など、様々な声が寄せ
られました。

戦争法を廃止しよう



口で行います。

「安全・安心の医療・介護を、介護保険制度の改善を」 求める院内集会・国会議員行動・厚労省要請行動



各地からの取り組み報告では、石川県の
「特養待機者の会」から介護保険のも
とでの実態や制度の問題点についての報告
が行われました。
集会終了後、厚生労働省に対して介護保
険制度の更なる改悪の中止と介護労働者の
処遇改善を求めて要請を行いました。

4月20日、中央社保協と全日本医連の
主催で、国会行動・院内集会、厚労省要請
行動が10時半から行われ、昼の定例国会前
集会をはさみ16時まで行われ、午前・午後
とも170人が参加しました。
午前10時半からの議員要請行動では、住
江憲勇中央社保協代表委員が情勢報告を兼
ねた開会あいさつを行い、国会議員要請行
動を実施しました。
昼休みの定例国会前集会を経て、午後1
時半から院内集会を開催し、日本共産党の
島津幸広衆議院議員が国会情勢報告を行い、
全日本医連の林事務局次長が、介護保険
をめぐる情勢と取り組み報告、米沢日本医
労連中執が、介護労働者の処遇改善をめぐ
る取り組みと情勢報告を行いました。

石川県「特養待機者の会」の訴え

各地域・団体の取り組み

葛飾社保協

2月26日、葛飾社保協総会が16団体32人の参加で開催されました。

主催者あいさつに立った公文会会長は、「安倍首相は新年度予算で、戦争の出来る国にするために社会保障を削り軍事費を増強させ、国民生活をないがしろにする政策を進めている」と安倍首相の政治姿勢を厳しく批判しました。

東京社保協の相川事務局長が、あいさつを兼ねて医療・介護問題を中心に情勢報告を行い、国民のいのちと暮らしを脅かし、新たな負担を押し付ける「社会保障制度の総改革攻撃」に抗する運動を進めようと訴えました。

吉野事務局長は、消費税増税や戦争法に反対する取り組み、高齢者懇談会の結成など、地域の人達との共同した活動や、いのち・くらし・雇用を守る「なんでも相談会」を様々な分野で活動する人達との協力のもとで実施するなど、頑張った活動を展開してきたことを報告しました。今後の方

針では、「戦争法」廃止、消費税増税中止、憲法9条・25条を活かし社会保障破壊を許さない運動を地域から展開していくことを提案しました。

また、日本共産党の折笠区議が、区政報告を行い、区の総合事業を批判し、子どもの貧困問題など区民の生活を守る活動を報告しました。

各団体からは、子どもの貧困問題や保育問題、障害者問題、国保問題や生活保護引き下げに反対する取り組みが報告され、総括・方針・決算・予算、新しい体制を全体で確認し終了しました。

(吉野 五郎 事務局長)

西多摩社保協

西多摩社保協は、この間幹事会前の学習会を開催しています。3月は、健生会社保組織課長の岡崎いずみさんが「川上から川下へ、地域医療・病床機能の再編」とは」と題して報告、医療機関が現在おかれている状況を含め学習を行いました。

4月26日には、東京社保協の相川事務局次長を招いて、



「国保料の値上げは命の切り捨て、国保運営に住民の声を生かそう」と題して、国保の都道府県単位化問題の学習を行いました。今後、6月には「安倍政権の憲法改悪ストップ」大学習会を、窪田之喜弁護士を招いて開催する予定になっています。

(社保協ニュースより)

三多摩高齢者大会実行委員会

4月25日、国分寺労政会議室で高齢者大会三多摩地域実行委員会と代表世話人合同会議が開催され、18地域から41人が参加しました。

合同会議は、柳林子代表世話人の司会で行われ、主催者挨拶を畑中久明・三多摩実行

委員長が行い、東京実行委員会副実行委員長の福井典子さんが東京実行委員会を代表してあいさつを行いました。

三多摩実行委員会から、「今地域実行委員会活動で何が必要か」と題して小嶋満彦代表世話人が報告し、大橋光雄事務局長が当面の取り組みについて報告して討論に移りました。

討論では、参加した18地域全てから、現在までの地域実行委員会の結成状況や高齢者大会へ参加目標や取り組みが報告され、5月23日に開催される「三多摩高齢者のつどい」を高齢者大会の成功と三多摩地域の高齢期運動の総決起の場として成功させることを全体で確認しあいました。



私たちが求める医療 介護シンポジウム

4月23日、「私たちが求める医療・介護を実現する会（仮称）」が主催するシンポジウムが、東京労働会館のラパスホールで開催され、会場溢れんばかりの137人が参加しました。

最初に、芝田英昭立教大学教授が、「医療・介護（社会保障）改革への基本的な視点」と題して記念講演を行いました。

シンポジウムは、安達智則さん（自治体問題研究所）がコーディネーターを務めて進められ、①「東京都地域医療構想策定部会の経過と課題」を都庁職病院支部の大利英昭書記長、②「都民と保険医を取り巻く社会保障制度の実態」を東京保険医協会理事の細田悟医師が、③「私たちが求める医療・



介護—ケアマネージャーの現場から—をケアサポートセンター千住の石田美恵所長の3人から報告が行われました。

東京都の地域医療構想では、10回の部会を経て3月30日に医療構想骨子案がまとまった。しかし、必要病床数を二次医療圏毎に算定することが主な議論の場となり、本来議論すべき「医療と介護」のために必要な「将来あるべき医療提供体制の実現」に向けた議論は「なおざり」にされた部会だったことが報告されました。

現時点での不足病床数は10356床ですが、必要病床数の達成に向けた具体的な方策や連携については、二次医療圏毎に設置される「地域医療構想調整会議」で議論され、平成29年度末までに策定される「第7期保険医療計画」に具体的に盛り込まれる予定であることが報告されました。

保険医を取り巻く状況については、東京保険医協会が実施した患者受診状況実態調査に基づいて報告がされ、介護問題では、ケアマネージャーの立場から、具体的なケースに基いたリアルな報告がされました。

フロアからは、東京民医連が「手遅れ死亡事例」の概要報告、

広尾病院の青山移転計画などが報告されました。

朝日健二さんを語る会

4月9日、全労連会館ホールで生存権裁判を支援する全国連絡会・同東京連絡会と中央社保協の主催で「朝日健二さんを語る会」が開かれ129人が参加しました。

会は、新井章さん（元朝日訴訟主任弁護士）が開会あいさつを行い、全員で黙とうを捧げました。引き続き、生存権裁判を支援する全国連絡会の井上英夫会長が、「人間裁判と朝日健二—今改めて朝日訴訟に学ぶ」と題してミニ講演を行いました。

その後、朝日茂さんが生活保護費の増額を国に要求してたたかった

朝日訴訟を、朝日健二さんが継承してたたかった足取りをNHKアーカイブが取り上げた映像の上映や、小川政亮日本福祉大学名誉教授など各界の参加者から、朝日健二さんへの思いが語られました。「今、朝日茂さんが訴訟を起こした当時と酷似している」と病の中でも全国からの講演要請にこたえて「権利はたたかう者の手にある」と訴え続けた朝日健二さんの思いを継承する決意を固め合う機会となりました。



**第30回日本高齢者大会
2016/in 東京**

日時 8月28日(日)13:00~
8月29日(月)10:00~

会場 28日 大正大学
29日 東京国際フォーラム

日本高齢者大会実行委員会

**憲法25条を守る
5・12共同集会**

日時 5月12日(木)
12:30~

会場 日比谷野外音楽堂

憲法25条を守る共同集会実行委員会

第44回 東京社保学校

日時 2016年5月29日(日)10時~4時半(予定)

会場 けんせつプラザ東京

①戦争法施行と明文改憲の動き・阻止のたたかい

小澤 隆一氏・東京慈恵会医科大学教授



②青少年の居場所づくりKiitosから見たもの

白旗 眞生氏・【青少年の居場所】キートス代表



③TPPと医療問題

須田 昭夫医師・東京保険医協会副会長



講演

特別報告

受診実態調査報告 (東京歯科保険医協会)

手遅れ死亡事例報告 (東京民医連)

※資料代・500円(当日ご持参ください) 昼食は各自でお願いします

第44回東京社保学校 参加申込書 2016年 月 日

締め切りは5月25日です。この申込書をFAXして下さい

団体名() 担当者()

参加者氏名	参加者氏名

※必要事項を記入してFAXで申し込んでください。
お問合せは、東京社保協事務局まで(Tel.03-5395-3165)

FAX 03-3946-6823